

## 会議結果の公表

附属機関等の名称	沖縄県立図書館協議会
日時	平成31年3月18日(月) 10:00~12:00
場所	沖縄県立図書館4階ビジネスルーム
出席委員名	(8名) ①望月道浩会長、②豊見山恵美子副会長、③與座博好委員、 ④平井りい子委員、⑤金城由美子委員、⑤田中洋人委員、 ⑥友利清和委員、⑧呉屋美奈子委員
議題及び報告事項	1 開会 2 館長挨拶 3 議事(報告事項) ①平成30年度県立図書館の運営状況について ②平成31年度県立図書館の予算(案)の概要について 4 委員の皆様より館への提言等 5 閉会
議事の概要	報告事項に対する質疑応答を行った。 委員からの質疑及び提言は議事録のとおり。
公開・非公開の別	公開
非公開の場合の理由	
所管課等	沖縄県立図書館
問い合わせ先	総務班 担当 大城・宮城 電話 098-894-7086
備考	

## 平成30年度第2回沖縄県立図書館協議会 議事録

日 時 : 平成31年3月18日(月) 10:00-12:00

場 所 : 沖縄県立図書館4階 ビジネスルーム

出席者 : 8名 ①望月道浩会長、②豊見山恵美子副会長、③與座博好委員、  
④平井りい子委員⑤金城由美子委員、⑥田中洋人委員、  
⑦友利清和委員、⑧呉屋美奈子委員

傍聴者 : なし

### 次第

- 1 開 会
- 2 館長あいさつ
- 3 議 事
- 4 委員の皆様から図書館へのご提言等
- 5 閉 会

#### 〈議事内容〉

望月会長の進行により下記の2つの議事について事務局の説明及び委員からの質疑応答を行った。議事における発言要旨は以下のとおり。

〈議事①平成30年度県立図書館の運営状況について、議事②平成31年度県立図書館の予算(案)の概要について〉

〈事務局より議事①について説明〉

#### 委員

事実確認ですが、アメリカ情報コーナーは、「アメリカン情報コーナー」と書いている場合と、「アメリカ情報コーナー」と書いている場合がありますが、どちらが正しいでしょうか。使い分けがありますか。

#### 事務局

正式には、アメリカ情報コーナーです。通称でアメリカンコーナーと呼んでいるため、混在したと思われる。

#### 委員

たくさんの活動をやられていて、特に新館に移動するという事で大変な中でやられたと思うんですが、ご苦労様です。この中で、たくさんの活動が報告されていますが、中には単年度で終わってしまったりとかというのがあるんですが、それはどのような分け方がされているんですか。継続するものがあれば、もしくは単年度で終わってしまうものがあれば、教えていただけますか。

#### 事務局

貴重資料展を含む開館関連のイベントは単年度です。その他は継続していく事業というかたちでご理

解いただきたいです。

委員

9番の「世界の絵本読み聞かせ会」も継続ですか。

事務局

はい、これも継続です。

委員

ありがとうございます。

事務局

開館記念、オープニングは今年度限りなのですが、次年度、開館1周年記念事業というかたちで予算確保して、中身はこれから詰めていきますが、1周年記念として何かイベントはやりたいと考えております。

会長

今回、関連イベントに参加された方からアンケートを取られていると思いますので、そこを参考にしながら次回検討していただければと思います。

委員

小学校に出向いて、利用講座というのがあったと記事で見たんですが。これは資料の中に入っていますか。始まったばかりでしょうか。

事務局

去った2月に実施しました。資料にはありませんが、南風原町の地域コーディネーターから依頼がありまして、初めて2月に。これは資料を作った後に依頼がありました。

翔南小学校5年生を対象にということで、是非新館の使い方とか調べ学習の仕方とかを出前講座でやってほしいという依頼があったので行きました。それがこの前、琉球新報で掲載されていました。南風原からは、次年度もまたそういう形で他の学校も出前をやっていただきたいという話があるので、前向きに考えています。

委員

良い取組と思い記事を読みました。お疲れさまです。

委員

3ページの利用状況についてですが、12月15日にオープンして、開館日数でするとだいたい60.3%、要するにマイナスですから、約4割ぐらいの日数になると思います。レファレンス件数もだいたい同程度のパーセントになっていると思います。このレファレンス件数について、利用が多い7月、8月が抜けているから正式な比較はできないと思いますが、特に新館に入ってから、例えば、県内、県外あるいは外国人のレファレンス相談の内容といたしますか、対象者も大きく変化があるかどうか分かるのであれば教えて欲しいです。特に外国人観光客のレファレンス相談、問い合わせなどは増えたのでしょうか。

事務局

現状、特にレファレンス対象が変わった状況は見受けられませんが、今後増えていくこともあると思われま

委員

ありがとうございます。

あわせて、立地場所もそうですが、内容もコンセプトも、これからはレファレンス機能といたしますか、そういったことも充実させていく方向にあると思いますので、是非、強化して行ってほしいと思います。

委員

今のレファレンスの件ですが、外国人の方がいきなり図書館に来て困ってしまうと思いますので、例えばホームページなどで、英語案内等でレファレンスの方は事前にお知らせ下さい、というようなことができれば、誰か語学わかる人たちを事前に準備したりとかいうこともできるのかなと思いました。

事務局

今はそういったものはありません。

委員

提案、意見としては、ホームページに「海外のレファレンスの方」向けの案内を英語で出して、クリックすると、その内容や訪問したい日時などを入力するフォームが出るようにして、それを受けて準備しておけば、資料の準備や英語などを話せるボランティアを探すこととかもできるのかなと思いました。

いきなり来てあたふたすることのないよう前もって準備して、向こうもすぐ来るわけではないと思うので、予定に合わせて対応できるのかなと思いました。

事務局

委員ご指摘のとおり、英語について、案内や英語を使える人材の確保が課題となっております。

委員

今後の入館数などの分析に、国籍が違う方、観光でいらっしゃった方を区別できるような受付が必要ではないでしょうか。外国人の方がどういう風に来館しているか知りたい委員の方もいらっしゃいます。公表できるかたちで、人数だけじゃなくて、日本国籍なのか、そうじゃないのか、だけでも表せるのであればやった方がよいと思います。

事務局

現在はシステム上、来館者数の人数カウントしかできていない状況です。

委員

来館者についてはそうだと思います。レファレンスする場合には、受付時に確認等があり、外国の方が日本、沖縄について知りたいという場合には判別できると思うんですけども。

先程申し上げたとおり、どれだけの方が利用しているかを表すための情報の取り方は必要になってくるのかもしれないですね。

委員

将来的に、外国人対応の予算取りするためにも、そういう基礎データがあったら、これだけ外国人の方が増えましたということで、予算取りしなきゃいけないということの基礎データになるんじゃないか

と思います。

会長

今の話に関して、ご意見として、事務局の方では受け止めていただくということでよろしいですか。

事務局

はい。

委員

先程、事業報告でもありましたが、社会教育団体、PTAなど他の社会教育団体が視察に行きたいとか、そういう要望に応えられる状況であるのかどうか。新しい図書館ですので、皆さん関心もあって、またさらに子どもたちに広める意味でも、保護者の啓発、研修・視察も有効かと思いますが、そういう研修等を組みたいと思ったときに、受け入れるシステムがあるのかどうか。

事務局

今年度移転したばかりで、こちらの方が整っていない状況でしたので、原則、次年度に実施するという事になっています。ホームページで告知をして、事前に人数・日時等を確認した上で実施するという仕組みで進めていきたいと思っております。

今後、ホームページに載せて、どんどん皆さんへの周知を図っていきたいと考えております。

委員

関連して伺います。

県立学校も市町村も一緒だと思いますが、図書館司書研修会というものを、だいたい小中、県立も7月後半から8月に実施します。そういった研修会の中に、今おっしゃったいろんな中身も勉強させてもらいながら研修などで活用できたらなと思います。

事務局

それは、館内見学ということでしょうか。

委員

見学のみではなく、司書のあり方も含めてです。先程、読書指導員養成講座というものがありましたよね。そういったかたちのものをできるのかなと思ったりしたんですが。

事務局

見学ではなくて、委員がおっしゃったかたちで、総合教育センターであつたり、各教育事務所の方にこちらの職員が出向いて図書館の利用について利用案内であつたり説明会を実施しています。

委員

新館ですので、やっぱり現場を見てみたいという意見があります。

事務局

学校司書の研修会については、国頭、中頭、那覇地区、島尻、宮古、八重山の司書研修で、図書館の説明や子どもの読書活動推進計画、一括貸出の説明などを行っており、次年度も予定しています。

大半は、各地区に行つて、こちらの方から出向いて行つて説明しますが、次年度は総合教育センター

からも依頼がありまして、新人研修会を県立図書館で行いたいということで、今回5月に行います。通常の講話も含めて、バックヤードツアーまでやる予定です。先ほどの読書指導員の講座に関しては、図書館が運営するのではなく、生涯学習振興課が、養成した指導員60名をさらにスキルアップするために講座をもっているかたちです。その場所をとして、県立図書館を使っております。

司書の見学等も各市町村から要望があるので、この辺は先ほど説明したようにホームページに載せて、対応していきたいと思えます。

委員

よろしくお願ひします。

委員

様々な活動お疲れさまです。

6ページの移動図書館について、私の方で知識が無いんですが、子ども向けのワークショップを、こどもの国とか美ら海水族館でやっているということですが、それはどのようなことをワークショップとしてやっているんですか。

事務局

こどもの国の場合は、科学のイメージがかなり主になるんですが、移動図書館の場所にこどもの国から2人ぐらい派遣していただいて、そこで紙飛行機だったり、紙風船だったりを子どもたちと一緒に作ってというようなものです。大抵1泊2日ですので、午前の部、午後の部、翌日の部といったかたちで実施しています。美ら海水族館の場合には、生き物の生態について。例えば、サメであるとか。それから、ぬり絵の缶バッジ作りだとか、そういったものをこどもの国や美ら海水族館等にお任せをして、貸出の部分とはまた別のかたちで部屋を設けて、来館した子どもたちを対象に実施しています。

委員

わかりました。ありがとうございます。

委員

場所というのは、市町村の公民館であったり、いろいろな公共施設を使ってやっているわけですね。

事務局

はい、そうです。

会長

たくさん活動内容の報告があり、委員の皆さまもまだまだご意見があるかと思えますが、予定した時間を超過しておりますので、特にその他質疑なければ次の報告に移りたいと思えます。よろしいでしょうか。

〈議事②平成31年度県立図書館の予算（案）の概要について〉

〈事務局より議事②について説明〉

委員

旧館返還にかかる返還金が1億円以上ありますが、閉館したあと、お金を返さないといけないという

ことなんですか。

#### 事務局

平成20年度から3年ぐらいかけて国の交付金でトイレの修繕だったり、空調の設備の修繕をしているんですが、基本的にこれに耐用年数というか10年とか15年という期間があるんです。それを過ぎれば、国庫返還というのは生じないのですが、今回、だいたいそれ以内になっておりますので、残りの期間の分の国庫返還が生じてしまうので、それがこの1億円余りというかたちになっております。

#### 委員

では、もったいなかったということですかね。1億円、大きいですものね。

#### 事務局

トイレや空調は先ほどご説明しましたように、県庁舎の仮庁舎ということなので、そちらの方で利用されていきますが、一旦、図書館の整備として投入している予算なので、その分はどうしても返還が出てしまうということになります。

#### 委員

図書館として使っていれば、返還は生じなかったのですか。

#### 事務局

はい、そうなります。旧館の方からは本も必要な備品も全部新館に移してますので、どうしても次年度から図書館の機能として使うということができないものですから後日返還ということになりました。

#### 会長

その他いかがでしょうか。

#### 委員

10番目の項目については、この協議会として、是非この事業を行ってもらいたいというような、そういう事業を立ち上げてもらいたいというような意見を残した方が良いのかなと思うのですが、どうでしょうか。

まだ予算が獲得できていないということなんですよ。私個人的にも良い事業だなと思っていますので、是非実現して予算獲得ができたなら良いなということを伝えてと思います。他の委員からも後押しがあると良いのかなと思っています。

#### 委員

是非、ハワイ、ペルーだけでなく、もっと各国増やしていただきたいと思います。

移民、いっぱい沖縄から来ていますので、ハワイ、ペルーだけでなく、ブラジル等いっぱいいますので。せっかく始められる事業なので、各国に資料収集に行かれるととても良いのかなと思います。

#### 事務局

予算確保できましたら、継続したいと思います。

#### 委員

今年度実施した中に、健康医療イベントの開催というのがあります。これは予算の中では、次年度も

含まれてますか。

#### 事務局

図書館運営費の中の委託料で、栄養士会に委託して実施しています。次年度も実施していきたいと考えております。このための予算というかたちではなく、全体の予算の中での実施となります。

#### 委員

健康関連イベント参加者から聞いたのですが、当会は年配の方が多いのですが、会場を移動しての研修・懇親会が図書館近くであったんですが、ものすごくアクセスが良くて便利だと、ありがたいという話がありました。このことから考えると、先ほど委員が話していたように、団体等で勉強会・研修をしてこういうことも広く知らせられたらなと思いました。

シニアライフの中で健康というのがすごく大事なので、そういうところで利用できたらなど。場所も良いし、内容もすごいよということで、喜んでいらしたのが70代後半・80代なんですよね。こういうところでも事業があるということをPRできるし、健康な年寄りが増えると、県にとっても良いことなので。

#### 事務局

補足いたします。

新館3階のホールにつきましては、4月以降、一部有料にはなりますが、一般への貸出も実施していきます。旧館は、主に図書館の主催イベントで使用してきましたが、新館では外部にも貸出いたします。教育振興、文化の発展、情報発信というものであればホールの貸出を活用していただきたいと考えています。

#### 会長

その他いかがでしょうか。

#### 委員

図書館運営費の中で、講師謝礼旅費のところ、①の方に日図協との連携とありますが、日図協との連携のイベントというのは具体的な計画はあるんですか。

#### 事務局

日図協、県公図協の講師支払いは全てそこから出ているので、これはあくまでも負担金だけのことを指しています。

#### 委員

予算6の知の拠点パワーアップ事業で、資料購入費等が31年は若干金額が減ってますが、これは何か理由がありますか。増えていくような感じがしたんですけれども。

#### 事務局

予算査定事務の中でこの金額に落ち着いております。県の予算もどうしても限りがありますので。

#### 委員

バランスを考えて、ということですね。わかりました。



## 会長

その他いかがでしょうか。

よろしければ、各委員のみなさんから、県立図書館への思いや委員としての2年間を振り返っての感想などいただきたいと思います。もしご意見等ありましたらあわせてお願いします。

## 委員

今は教育センターですが、委員になったときは那覇国際高校の校長、校長会の会長ということで参加させてもらいました。図書館が専門というわけではありませんが、いろいろ勉強させてもらいましたし、また、新館に移動した中で参加できたこと、いろいろ勉強になりました。やはり図書館はこれから、新館のコンセプトにもありますが、本を借りて読むだけの場所ではなくなってきましたね。地域、あるいはビジネス街もありますので、全体のランドマーク、文化創造のまさに拠点だという感じがします。是非、これからもたくさん関わっていきたいと思いますので、みんなで協力して頑張っていきましょう。いろいろ勉強になりました。ありがとうございました。

## 委員

私は公募委員として2年間務めさせていただきました。どうもありがとうございました。

利用者の視点からという気持ちで、ずっと関わらせていただきましたけれども、本当にそういった視点からできたかなど、良かったなと思います。

今回、旧館から新館に移るという大きな節目で参加させていただけたことをすごく良かったなと思います。今後も知の拠点だけじゃなくて、交流の拠点としてその役割というものはすごく大きなものがあるのかなという風を感じておまして、地の利もすごく良いので、そういったかたちで、利用者も急上昇で増えているのが見えるので、まさに皆さまのご活躍の、努力の成果なんじゃないかと思っています。

提案として2点あるんですが、バックヤードについて、先ほど継続的にやられたいというのをおっしゃってたと思うんですけども、月に1回とか公開して、裏を見せていただけるようなことをすれば、とってもおもしろいんじゃないかなと思いました。私たちは、12月15日の開館のときに見させていただきましたけれども、なかなかそういった機会ってないので、すごくおもしろかったです。写真撮ってフェイスブックに載せたら、海外の友達、図書館関係者からも「すばらしいね」ということで、みんなが拡散してくれたので、是非そういうことを続けられたらと思います。

もうひとつ。本を返却するときに、ここしかないの、どこか他の所にもあったら良いのかなと思いました。私は、那覇市の図書館もよく使うんですけども、そこは市役所にもあったりとか各支所とかにも返却するポストがあるので、県の施設としてそんなにたくさんないと思うんですけども、どこかいろいろあったら、ついでにどこかで返せるというのがあったら良いのかなと、利用者視点から感じました。どうぞよろしくお願いします。ありがとうございました。

## 委員

生涯学習振興課に勤務していた頃、知の拠点としての図書館、その後社会教育委員としても、こういう図書館であつたら良いなというのを述べさせていただきましたけれども、去年の12月にこれだけすばらしい箱ができて、そこに移動して、これまでこれだけたくさんの事業等、新聞などでもいろいろと拝見しておりましたが、実際に開館式典に参加して感無量でした。本当におめでとうございます、と同時に、ああ、こんな風になってできたんだなということで、非常に嬉しく思いました。

内部で、館長はじめ一緒にやってきた皆さん方は、いろんなご苦労があつて今に至っていると思いますが、またレファレンスの方でもいろいろ出てくると思います。予想していなかったけど、こういうこともあるなと課題がいくつもあると思いますが、これからもまた頑張っていたいただきたいと思います。私もいっぱい勉強させてもらって、お世話になりました。ありがとうございました。

## 委員

皆さんがおっしゃったことと同様、新館に移転のときに委員になれたというのは、すごい巡り合わせで、幸い・ラッキーだったなと思います。その中で、私は学振課の方において、読書活動をやっていたんですが、子どもの読書活動の推進の法律ができてからの動きで、かなりそこにてこ入れしていった時代ではあったんですが、そういう部分で、子どもたちの読書、読書離れが言われている中での動きだったんです。

新しい多目的を兼ねたような図書館、多目的という用語弊があるかもしれませんが、ホールの開放とか、そういう意味でより多目的になったのかなと思っていますので、これまで本と縁遠かった県民が県立図書館に行くというような、お買い物に行く気分で行けるような施設になっているのではないかなと思います。

先ほど申し上げたように、いろいろな組織の方々へ周知していく中で、より啓発をしていきながら、読書離れを図書館が食い止める役割を担ってもらえるのではないかと、期待しているところです。おばあちゃんたちが孫を連れて来たくなるような場所だろうなど。PTAとしてもそういうかたちで、子どもたちができるだけ図書館に足を運ぶように、学校図書館もありますが。そのようなことに耐えうる図書館になったなと思って大変嬉しく思っています。また、大変お疲れ様でしたということと今後の発展を期待しております。

## 委員

私は市町村職員なんですけれども、教育委員会で社会教育を担当していて、市町村の公民館の図書室を担当していた関係で委員をさせていただくことがきっかけで、その後福祉課の方で健康、高齢者などの担当をしまして、今現在は異動によって住民課で税などをみています。そして、国頭村の婦人会長もしておりますので、いろんな意味で、へき地と県立図書館の関係というのを考えながら委員をさせていただいております。

新しい図書館とへき地の交流ですとか、良いお付き合いというのをこれからも考えさせていただきたいと思いますし、やはり今、県が進めています貧困対策事業がだいぶ根付いてきて、国頭村は村立図書館と子どもの居場所というのを同じ建物の中で、放課後、親がいないところの子どもたちを同じ場所で育てています。貧困対策事業と県立図書館とのお付き合いというのも、まだまだたくさん未来がある事業である、進めていきたいということと、やはり高齢化が進んでいますので、高齢者と県立図書館、そこへき地という関係もまだまだたくさん課題があるので、そこも私も進めていきたいと思っていますので、そういった意味でも勉強させていただきたいと思いますので、今後もよろしくお願ひしたいと思っています。ありがとうございました。

## 委員

私も公募で採用していただきましたが、私の個人的な意見として、私高校3年間、浪人のときに、県立図書館で勉強させていただきまして、本を借りることはあまりなかったのですが、居場所として与えて下さったという、それに対する少しばかりのお手伝いが今できたのかなという風に考えております。

私も海外で4年ぐらい住んでまして。そのときに、図書館というのがかなり身近にあって、オーストラリアの方ですが、図書館がコミュニティーセンターという活用のされ方が中心になってきている。ですから、そこにみんなが集まるという、図書館は人が集まる場所ということで、やっぱり話題もあるし、知の拠点としての県立図書館が今後どんどん発展していくことをすごい期待しておりますので、みなさん大変でしょうけど、頑張ってください。今までありがとうございました。

## 委員

私は2期目で、長く関わらせていただきまして、県立図書館が建つときにいろいろ意見なども言わせていただいて、大変良かったなと思います。

先ほど、委員からあったように、どこでも本が返せるようにという意見がありましたが、そういったことは市町村立図書館を使えば簡単にできるかなと思います。県外の県立図書館の中では、市町村立図書館どこでも返して良いというようなことをやっているところもありますので、そういったところから事例をならって、是非、市町村立図書館を活用しながら、連携しながら、さらに便利な県立図書館になっていくと良いのかなと思います。

また、県外の方からもたくさん県立図書館に対して、見に行きたいとかっていう声をいただいております。県立図書館を活用したいろいろなイベント、県外の人たちを受け入れての研修なども今後検討していただきたいなと思います。よろしく申し上げます。

## 会長

私も委員と同じように、協議会委員の2期目というかたちで務めさせていただきました。会長を仰せつかりまして、会長になってしまうと司会進行で精一杯というところもありまして、委員のみなさまになかなかスムーズな進行もできずに、ご迷惑をおかけしました。

今回、新館というかたちで移転を含めて協議会委員として関わることができました。県立図書館の職員のみなさんにとっては、移転作業の忙しさというところもさることながら、オープンしてからさらに多忙を極めるようなところもあって、中の業務ももちろんですけれども、図書館の外に出て行っただけの活動というのをもたくさん展開されているかと思います。私が大変心配しているのは、職員体制です。開館前からいろいろと心配していたところがありましたが、やはり今後様々な事業計画等を立てられていくというときに、本当に今の体制のままだけでやっていけるのかどうかというところも大変心配しているところがございますので、また次期協議会の委員のみなさんにも、そういったところも含めて協議していただければと思っています。いろんな目新しいイベントがあるのは対外的にはすごく良くうつるんですが、そのことによってひとつひとつの事業が薄くなってしまえばこれはまた本末転倒というところもあるかと思うので、是非、県立図書館としての使命を踏まえつつ、今後発展していただけるように、期待しております。

あともう1点、外部の方から質問を受けまして、県立図書館WEBサイトをリニューアルされましたよね。その中で、新県立図書館が力を注がれている児童サービスにかかわり、子ども読書推進室があったかと思います。あれが今、子どもの読書推進研究室という名称も使われているかと思います。外部の方からの質問というのが、沖縄県立図書館は、推進室と推進研究室という2つを持っているんですね、と尋ねられたんですね。おそらくPDFで出ている方の書類と、WEBサイトで直接表示されるものの名称がゆらぎがあるのだらうと思います。外部の方から質問があったので、また後でご確認いただければと思いますので、よろしく申し上げます。逆に言うと、それだけ県外の方からの注目が高まっているということですので、WEBサイトも含めて、外部への情報発信も充実をさらにしていっていただけたらと思いますので、よろしくお願いたします。

それでは、各委員のみなさんからいただきました感想・ご提案については、また図書館の方でも共有していただきまして、改善などに取り組んでいただければと思います。

これを持ちまして、本日の協議会を終了いたします。ご協力ありがとうございました。